

## 新型コロナウイルス感染症に関する健康情報の利用と行動変容について

研究協力者 佐々木 溪円 （実践女子大学生生活科学部）  
杉浦 至郎 （あいち小児保健医療総合センター）  
研究分担者 山崎 嘉久 （あいち小児保健医療総合センター）

〔目的〕 母子保健水準の向上のためには、適切な情報提供による行動変容が必要である。2019年に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策では、行動変容を求めるポピュレーションアプローチが奏功した。そこで、COVID-19対策に焦点をあてて、利用された情報源等と行動変容との関連を評価し、適切な健康情報の提供に向けた基礎資料を得ることを試みた。

〔方法〕 一般成人 615 人を対象としたインターネットを用いた横断調査を、2020 年 2 月から 4 月に継続的に実施した。調査指標は、COVID-19 に関する情報源、情報源の信頼度、予防行動とした。調査期間に行動変容が認められた予防策を従属変数として、性別、年齢、通院歴、情報源を独立変数とした多変量調整ロジスティック回帰分析を行った。

〔結果〕 「政府・自治体」の利用率は、2 月から 4 月にかけて有意に増加したが、緊急事態宣言の発出後の 4 月においても、「政府・自治体」を情報源として利用しない者や信頼しない者が認められた。すべての調査時期で、「TV」と「インターネットニュース」の利用率が高かった。しかし、これらの信頼度は、2 月と比較して 3 月と 4 月に低下していた。近距離での会話や人混みを避ける行動は、2 月と比較すると、3 月と 4 月に増加していた。近距離での会話回避は、2 月に通院歴があること、学歴が高いこと、新聞・インターネットニュース・SNS を情報源とすることと正の関連を示した。人混みを回避する行動は、女性、通院歴、インターネットニュースを情報源とすることと正の関連を示した。

〔結論〕 健康情報の提供において、一次情報へのアクセスを高めるとともに、信頼性の高い二次情報源を確保してヘルスコミュニケーションの円滑化を図る必要がある。健康行動の変容のためには、情報源の整備だけでなく、市民のヘルスリテラシーを高める取り組みや当事者意識をもてる施策展開が必要である。

### A. 研究目的

健やか親子 21（第 2 次）では「すべての子どもが健やかに育つ社会」を目指しているが、その健康水準の向上のためには社会全体としての環境整備や行動変容が必要である。無関心層を含む社会全体の行動変容のためには、適切な情報の提供による意識の高揚が必要である。一方、2019 年に発生した新型コロナウイルス

感染症（COVID-19）の対策では、行動変容を求めるポピュレーションアプローチが健康危機管理対策として行われている。この対策が奏功して、我が国の感染者数や死亡者数は諸外国と比較して極めて低い水準に抑制されている<sup>1)</sup>。以上の背景から、COVID-19 対策に焦点をあてて、利用された情報源等と行動変容との関連を評価することによって、適切な健康情報の提供

に向けた基礎資料を得ることを試みた。

## B. 研究方法

### 1. 対象

わが国の一般成人を対象とした COVID-19 に関する健康情報の認識等に関して、インターネットを用いた継続的な横断調査を実施した。楽天インサイト株式会社（以下、R 社）に登録された東京都、愛知県、大阪府に在住するパネル 800 名（男女各 400 人）を 2020 年 2 月にリクルートし、同一の対象者に 3 回の調査を行った。リクルートしたパネルの年齢別の構成は、20 歳代、30 歳代、40 歳代及び 50 歳代の各階層において男女各 100 人とした。なお、対象者からは、ヘルスリテラシーが高いと想定される医療職と教育職並びに健康情報の発信者である公務員を除外した。

初回調査は 2020 年 2 月 12 日（2 月）に実施し、3 週後の 3 月 5 日（3 月）と 9 週後の 4 月 15 日（4 月）に経時的な調査を行った。次に、調査時期の背景について概要を示す。2 月 12 日は、中国武漢市滞在日本人の帰国やダイヤモンドプリンセス号の乗客に対する検疫を中心に COVID-19 対策を行っていた時期である。この時期は、国内における COVID-19 が直接死因とされる症例や、政府の専門家会議の初会合、厚生労働省による受診の目安の発表より前にあたるため、国内対策の初期として設定した。2 回目の調査を行った 3 月は、国内における「第 1 波」のクラスターが散見されるようになった時期である。さらに、東京都では 4 月 4 日に 1 日あたりの新規感染者が 100 人を超え、4 月 7 日には東京都、大阪府、福岡県など 7 都府県を対象とした「緊急事態宣言」が発出された。4 月の調査は、緊急事態宣言後に行った。以上の 3 回の調査すべてに対して回答した 615 人を、本研究の解析対象者とした。

### 2. 調査項目

対象者の基本属性として、性別、年齢、居住都府県、職種、学歴、通院歴等について回答を得た。COVID-19 の情報源については、「政府・自治体」、「かかりつけ医」、「家族」、「友人・知人」、「TV」、「新聞」、「インターネットニュース」、「SNS」、「その他」を選択肢とした（複数選択可）。選択した情報源の信頼度については、6 段階リッカートスケール（1. とても信用している、2. 信用している、3. 多少は信用している、4. あまり信用していない、5. 信用していない、6. まったく信用していない）で回答を依頼し、その情報源を選択した人数に対する 1~3 を選択した人数の割合を「信頼度」と定義した。COVID-19 に対する予防行動については、「こまめに手洗いをする（手洗い）」、「アルコールによる手指消毒（手指消毒）」、「うがい（うがい）」、「外出時のマスク（マスク）」、「せき・くしゃみをする時は、ハンカチ等を口にあてる（咳エチケット）」、「他の人と近い距離で会話をしない（密接回避）」、「人が多く集まっている場所には行かない（密集回避）」、「換気が悪い場所には行かない（密閉回避）」、「テレワークなどで出勤を控える（在宅勤務）」の実施の有無について回答を依頼した。

### 3. 統計解析

比率の多重比較は Ryan 検定により解析した。Ryan 検定により有意な変化が認められた予防行動を従属変数とし、性別、年齢、学歴、通院歴、情報源の利用を独立変数とした多重ロジスティック回帰分析を行い、調整済みオッズ比と 95%信頼区間を算出した。従属変数の対照カテゴリは「予防行動なし」とし、独立変数の対照カテゴリは性別が「男性」、年齢が「20 歳代」、最終学歴が「高校以下」、情報源の利用は「利用なし」とした。本研究のすべての解析は、有

意水準を5%未満に設定した。これらの分析はSTATA Ver. 15.1で行った。

(倫理面への配慮)

インターネット調査の実施にあたり、調査を受けることの同意は、日本マーケティングリサーチ協会による綱領及びガイドラインに基づくR社による説明文と、本調査内容に関する説明文を提示したうえで取得した。説明文には、調査で得られた情報が個人を特定できない内容で統計処理されること、学術報告として発表される場合があること、調査目的以外の利用をしないことなどを含めた。本研究は、実践女子大学の倫理審査委員会で承認を得て実施した。

### C. 研究結果

表1に対象者の基本属性を示した。2月にリクルートした800人と3回の調査すべてに回答した解析対象者615人の中には、性別、年齢構成、学歴、通院歴に統計学的に有意な差はみられなかった。

表2に情報源の利用率を示した。すべての調査時期で、「TV」と「インターネットニュース」の利用率が高かった。「政府・自治体」の利用率は、2月から4月にかけて有意に増加した。しかし、4月においても、約65%の者は「政府・自治体」を情報源として利用していなかった。2月と比較すると、「家族」の利用率は3月に増加傾向を示し、4月では増加がみられた。4月における「インターネットニュース」と「SNS」の利用率は、2月と3月に比較して高値であった。

表3には、情報源の信頼度を示した。3月と4月における「TV」と「インターネットニュース」の信頼度は、2月と比較して有意に低い値であった。また、3月と4月における「新聞」の信頼度は、2月と比較して低い傾向を示した。

3月における「SNS」の信頼度は、2月と比較して低下したが、4月には改善傾向がみられた。

表4に対象者の予防行動を示した。2月と比較すると、3月と4月に「密接回避」と「密集回避」をした割合は有意に増加していた。また、「在宅勤務」をした割合は、2月から4月にかけて有意に増加した。さらに、多重ロジスティクス回帰分析によって、「密接回避」は2月に「通院歴」、3月に「通院歴」、「短大卒以上」、「新聞」、「インターネットニュース」、「SNS」、4月に「新聞」と正の関連を示した(表5)。「密集回避」は、2月に「通院歴」、「インターネットニュース」、3月に「女性」、「通院歴」、「インターネットニュース」と正の関連を示した。「在宅勤務」は2月に「友人・知人」、3月と4月に「短大卒以上」、「SNS」と正の関連を示した。

### D. 考察

本調査は、COVID-19に対する健康危機管理が必要とされている社会環境で行った。健康危機管理においては、リスクアセスメント、対策の実施と評価だけでなく、リスクコミュニケーションを繰り返し行うことが重要である<sup>2)</sup>。政府が行ったCOVID-19対策については、全体としては本質的な問題点はないが、関係者の相互協力によるリスクコミュニケーションの円滑化が必要であると指摘されている<sup>3)</sup>。今回の調査では、「政府・自治体」が提供する1次情報の利用率は、2月から4月にかけて増加した。しかし、緊急事態宣言が発出された4月においても、「政府・自治体」を利用しない者や信頼していない者が存在した。一方、既報<sup>4-7)</sup>に一致して、多くの対象者は「TV」や「インターネットニュース」等を情報源として利用していた。しかし、これらの二次情報、三次情報の正確性は保障されず<sup>8, 9)</sup>、不正確な情報源を利用することが精神的疲労に関連することも指摘され

ている<sup>10)</sup>。本調査では、COVID-19 発生当初である 2 月と比較して、3 月以降の「TV」や「インターネットニュース」の信頼度は低下していた。このことは、TV やインターネットを介した情報が不適切であると公衆衛生専門職等から指摘されたことが、一部の調査対象者に影響した可能性を示している。さらに、「SNS」の信頼度は 3 月に低下したが 4 月に改善傾向を示した。この結果は、SNS は利用者が情報の授受や取捨選択をするなかで、信頼できるコミュニティを選別し形成した可能性がある。以上の結果は、一次情報へのアクセスを高めるとともに、信頼性の高い二次情報源を確保してヘルスコミュニケーションの円滑化を図る必要性を示している。この課題に対して本研究班では、母子保健に関する情報を集約した「知識」データベースの構築を開始している。

本研究で認められた「密集回避」、「密接回避」や「在宅勤務」の増加は、いずれも COVID-19 対策として政府が示したアプローチである。従って、この結果はリスクコミュニケーションに伴う行動変容を示している。また、これらの行動変容は、情報源だけでなく性別や学歴、通院歴が関連した。本調査と同じ集団を被験者としているが、昨年度に実施した分担研究では、風疹に対する社会防衛の意義は先天性風疹症候群の発生リスクをもつ当事者意識と関連していた。この結果は、本調査において通院歴があることと行動変容に関連が認められたことに矛盾しない。また、学歴の高さと行動変容に関連がみられたことは、ヘルスリテラシーが学歴に依存することを反映したと推察される<sup>11)</sup>。従って、行動変容により健康水準の向上を図るためには、市民のヘルスリテラシーを高める取り組みや当事者意識をもてる施策展開が必要と考える。

本研究の限界点を述べる。まず、手法として

インターネット調査を採用したため、対象者はわが国の一般成人を代表していない。しかし、総務省によると、本調査の対象者層である 20 歳～59 歳の 9 割以上がインターネットを利用しており<sup>12)</sup>、選択バイアスは少ない可能性がある。次に、本調査で選択した質問項目は限られており、その他の因子について検討が必要である。さらに、本研究は横断調査に基づくものであり、因果関係を示すことはできない。

## E. 結論

COVID-19 に関する情報源の利用率や信頼度の変化から、一次情報へのアクセスを高めるとともに、信頼性の高い二次情報源を確保してヘルスコミュニケーションの円滑化を図る必要がある。健康行動の変容のためには、市民のヘルスリテラシーを高める取り組みや当事者意識をもてる施策展開が必要である。

## 【参考文献】

- 1) 木下諒、他. 新型コロナウイルスのクラスター解析と疫学. 臨床とウイルス 2020; 48: 193-197.
- 2) 高勇羅、他. SARS 経験からの危機管理. 臨床と微生物 2020; 47: 699-704.
- 3) 小滝晃、他. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と我が国の緊急事態制度の課題. 国土館防災・救急救助総合研究 2020; 6: 27-47.
- 4) 山口真紀、他. 妊産婦が得ている硬膜外麻酔分娩の情報とその選択に影響を及ぼす要因の検討. 日本ウーマンズヘルス学会誌 2020; 18: 1-12.
- 5) 中島千英子、他. 母親の育児情報源としての SNS 利用に関する調査. 大阪教育大学紀要(人文社会科学・自然科学) 2020; 68: 41-49.

- 6) 橋本洋子、他. 幼児を持つ母親の食や栄養、サプリメントに関する知識と情報源. 栄養学雑誌 2011; 69: 39-47.
- 7) 荒木田美香子、他. 発達障害に対する成人の認知および情報源に関する現状. 日本公衆衛生雑誌 2019; 66: 417-425.
- 8) 大島裕明、他. Web 情報の信憑性. 情報の科学と技術 2011; 61: 2-7.
- 9) 岸本桂子、他. がん患者を対象とした web サイトの健康食品情報についての研究. 薬学雑誌 2010; 130: 1017-1027.
- 10) Yui Y et al. Unreliable Information as a Risk Factor for Worse Mental Fatigue among Residents in Fukushima after the Nuclear Power Station Accident. The Tohoku Journal of Experimental Medicine 2019; 248: 261-272.
- 11) Lastrucci V, et al. Health literacy as a mediator of the relationship between socioeconomic status and health: A cross-sectional study in a population-based sample in Florence. PLoS One. 2019; 14: e0227007.
- 12) 総務省. 令和元年通信利用動向調査. 2020. <https://www.soumu.go.jp/>
- 13) [johotsusintokei/statistics/statistics05a.html](http://johotsusintokei/statistics/statistics05a.html) (2021-3-20 アクセス確認)

## **F. 研究発表**

### **1. 論文発表**

なし

### **2. 学会発表**

なし

## **G. 知的財産権の出願・登録状況**

### **1. 特許取得**

なし

### **2. 実用新案登録**

なし

### **3. その他**

なし

表 1. 対象者の基本属性

	対象 (n=615)	
	n	(%)
性別		
男性	314	51.1
年齢		
20 歳代	136	22.1
30 歳代	149	24.2
40 歳代	167	27.2
50 歳代	163	26.5
最終学歴		
高校以下	158	25.7
短大以上	457	74.3
婚姻歴		
あり	377	61.3
子ども		
あり	241	39.2
現在の通院歴		
あり	109	17.7

表 2. 新型コロナウイルス感染症に関する情報源

		n		%			n		%	
		2月	3月	2月	3月		2月	3月	2月	3月
政府・自治体	TV	2月	65	(10.8)		2月	508	(84.4)		
		3月	156	(25.4)	*	3月	486	(79.0)		
		4月	216	(35.1)	*†	4月	495	(80.5)		
かかりつけ医	新聞	2月	16	(2.7)		2月	140	(23.3)		
		3月	18	(2.9)		3月	140	(22.8)		
		4月	21	(3.4)		4月	148	(24.1)		
家族	インターネット	2月	110	(18.3)		2月	447	(74.3)		
		3月	137	(22.3)		3月	458	(74.5)		
		4月	165	(26.8)	*	4月	490	(79.7)	*†	
友人・知人	SNS	2月	99	(16.4)		2月	108	(17.9)		
		3月	126	(20.5)		3月	128	(20.8)		
		4月	106	(17.2)		4月	166	(27.0)	*†	

値は n(%) を示す。2月 は 602 人、3月 と 4月 は 615 人を母数とする。情報源について複数選択式として回答を得た。\* は 2月、† は 3月 と比較して有意な差を示す (Ryan 検定、 $P < 0.05$ )

表 3. 新型コロナウイルス感染症に関する情報源の信頼度

		信頼度				信頼度	
政府・自治体	2月	55/65	(84.6)	TV	2月	457/508	(90.0)
	3月	124/156	(79.5)		3月	393/486	(80.9) *
	4月	185/216	(85.6)		4月	410/495	(82.8) *
かかりつけ医	2月	15/15	(100)	新聞	2月	134/140	(95.7)
	3月	18/18	(100)		3月	122/140	(87.1)
	4月	18/21	(85.7)		4月	133/148	(89.9)
家族	2月	107/110	(97.3)	インター ネット	2月	397/447	(88.8)
	3月	131/137	(95.6)		3月	376/458	(82.1) *
	4月	154/165	(93.3)		ニュース	4月	410/490
友人・知人	2月	92/99	(92.9)	SNS	2月	87/108	(80.6)
	3月	112/126	(88.9)		3月	82/128	(64.1) *
	4月	95/106	(89.6)		4月	118/166	(71.1)

「とても信用している」、「信用している」あるいは「多少は信用している」と回答した人数/その情報源を選択した人数を示し、割合を括弧内に示した。\* は2月と比較して有意な差を示す (Ryan 検定、 $P < 0.05$ )

表 4. 新型コロナウイルス感染症に対する行動

		n	%			n	%
手洗い	2月	157	(25.5)	密接回避	2月	88	(14.3)
	3月	157	(25.5)		3月	129	(21.0) *
	4月	136	(22.1)		4月	120	(19.5) *
手指消毒	2月	125	(20.3)	密集回避	2月	142	(23.1)
	3月	137	(22.3)		3月	202	(32.8) *
	4月	121	(19.7)		4月	175	(28.5) *
うがい	2月	106	(17.2)	密閉回避	2月	108	(17.6)
	3月	102	(16.6)		3月	135	(22.0)
	4月	102	(16.6)		4月	114	(18.5)
マスク	2月	171	(27.8)	在宅勤務	2月	19	(3.1)
	3月	176	(28.6)		3月	43	(7.0) *
	4月	157	(25.5)		4月	86	(14.0) *†
咳エチケット	2月	81	(13.2)				
	3月	77	(12.5)				
	4月	77	(12.5)				

値はn(%)を示す (n=615)。情報源について複数選択式として回答を得た。\* は2月、†は3月と比較して有意な差を示す (Ryan 検定、 $P < 0.05$ )

表 5. 新型コロナウイルス感染症に対する行動変容と情報源等との関連

	2月		3月		4月	
	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P
<u>密接回避</u>						
性別	1.23 [0.76 - 1.98]	0.399	1.30 [0.86 - 1.98]	0.215	1.32 [0.86 - 2.01]	0.201
年齢						
30代	1.01 [0.50 - 2.03]	0.979	0.82 [0.43 - 1.58]	0.560	1.63 [0.89 - 3.00]	0.117
40代	0.76 [0.37 - 1.59]	0.469	1.74 [0.94 - 3.19]	0.077	1.37 [0.74 - 2.55]	0.316
50代	1.11 [0.55 - 2.22]	0.768	1.39 [0.73 - 2.64]	0.314	0.92 [0.47 - 1.77]	0.797
学歴	1.17 [0.66 - 2.06]	0.598	1.67 [1.00 - 2.77]	0.049	1.58 [0.94 - 2.67]	0.087
通院歴	1.76 [1.00 - 3.07]	0.048	1.77 [1.06 - 2.94]	0.028	1.31 [0.78 - 2.21]	0.311
情報源の利用						
政府・自治体	0.89 [0.40 - 1.94]	0.760	1.25 [0.78 - 2.01]	0.354	1.26 [0.81 - 1.95]	0.301
かかりつけ医	2.64 [0.79 - 8.82]	0.115	0.49 [0.12 - 2.02]	0.325	0.56 [0.15 - 2.09]	0.387
家族	1.64 [0.82 - 3.29]	0.160	0.80 [0.45 - 1.41]	0.440	1.12 [0.68 - 1.84]	0.645
友人・知人	1.21 [0.59 - 2.47]	0.604	0.87 [0.50 - 1.51]	0.616	0.88 [0.49 - 1.56]	0.652
TV	1.79 [0.78 - 4.13]	0.172	0.88 [0.52 - 1.50]	0.645	1.29 [0.72 - 2.30]	0.386
新聞	1.37 [0.80 - 2.35]	0.255	1.85 [1.16 - 2.96]	0.010	1.64 [1.03 - 2.62]	0.038
インターネットニュース	1.60 [0.85 - 3.01]	0.143	3.02 [1.64 - 5.55]	<0.001	1.44 [0.81 - 2.56]	0.218
SNS	1.03 [0.53 - 1.98]	0.941	2.08 [1.25 - 3.46]	0.005	1.23 [0.76 - 1.98]	0.393
定数	0.03 [0.01 - 0.12]	<0.001	0.03 [0.01 - 0.09]	<0.001	0.04 [0.01 - 0.12]	<0.001

従属変数の対照を「予防行動なし」とした多重ロジスティクス回帰分析により算出。独立変数の対照：性別、「男性」；学歴、「高校以下」；通院歴、「なし」；

情報源の利用、「利用なし」



(表5 続き)

	2月			3月			4月		
	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	
<u>密集回避</u>									
性別	1.30	0.197	1.57	0.015	1.45	0.015	1.00	0.050	
年齢									
30代	0.93	0.800	1.09	0.741	1.27	0.741	0.75	0.382	
40代	0.68	0.206	0.84	0.503	1.10	0.503	0.64	0.737	
50代	0.73	0.301	0.65	0.133	0.79	0.133	0.45	0.423	
学歴	1.48	0.118	1.51	0.058	1.26	0.058	0.81	0.296	
短大卒以上									
通院歴	1.76	0.023	1.97	0.004	1.39	0.004	0.87	0.163	
あり									
情報源の利用	0.63	0.192	1.14	0.532	1.19	0.532	0.81	0.374	
政府・自治体									
かかりつけ医	2.42	0.132	0.48	0.241	0.42	0.241	0.13	0.149	
家族	0.92	0.787	1.28	0.298	1.30	0.298	0.84	0.243	
友人・知人	1.29	0.415	0.76	0.265	0.87	0.265	0.52	0.585	
TV	1.33	0.351	1.41	0.155	1.00	0.155	0.62	0.995	
新聞	1.35	0.207	1.33	0.195	1.47	0.195	0.96	0.076	
インターネットニュース	1.95	0.011	2.20	0.001	1.61	0.001	0.97	0.064	
SNS	1.42	0.193	1.12	0.622	1.47	0.622	0.97	0.070	
定数	0.07	<0.001	0.07	<0.001	0.09	<0.001	0.03	<0.001	

(表5 続き)

	2月			3月			4月			
	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P	オッズ比[95%信頼区間]	P		
<u>在宅勤務</u>										
性別	女性	0.42	[0.15 - 1.16]	0.094	0.55	[0.28 - 1.08]	0.081	0.65	[0.40 - 1.07]	0.088
年齢	30代	1.92	[0.59 - 6.28]	0.282	1.19	[0.50 - 2.81]	0.699	1.12	[0.58 - 2.14]	0.739
	40代	0.29	[0.05 - 1.70]	0.172	0.65	[0.24 - 1.73]	0.391	0.91	[0.47 - 1.79]	0.791
	50代	0.53	[0.11 - 2.45]	0.415	0.86	[0.32 - 2.31]	0.766	0.65	[0.31 - 1.35]	0.245
学歴	短大卒以上	2.53	[0.54 - 11.8]	0.236	3.01	[1.11 - 8.18]	0.031	2.39	[1.21 - 4.72]	0.012
通院歴	あり	1.06	[0.31 - 3.65]	0.931	1.78	[0.80 - 3.97]	0.160	0.98	[0.52 - 1.87]	0.955
情報源の利用	政府・自治体	1.56	[0.36 - 6.66]	0.551	0.64	[0.29 - 1.43]	0.282	1.08	[0.65 - 1.80]	0.763
	かかりつけ医	4.68	[0.54 - 40.2]	0.160	1.56	[0.37 - 6.63]	0.548	0.75	[0.20 - 2.84]	0.669
	家族	0.28	[0.06 - 1.37]	0.116	1.52	[0.67 - 3.46]	0.320	1.11	[0.63 - 1.96]	0.711
	友人・知人	4.79	[1.44 - 16.0]	0.011	1.51	[0.69 - 3.33]	0.305	0.84	[0.42 - 1.66]	0.613
	TV	1.26	[0.31 - 5.04]	0.744	1.02	[0.44 - 2.35]	0.970	1.50	[0.77 - 2.94]	0.233
	新聞	1.11	[0.35 - 3.53]	0.861	1.51	[0.71 - 3.19]	0.280	1.40	[0.82 - 2.39]	0.216
	インターネットニュース	1.19	[0.36 - 3.93]	0.777	1.31	[0.56 - 3.06]	0.532	1.23	[0.65 - 2.33]	0.534
	SNS	0.80	[0.21 - 3.00]	0.741	2.43	[1.17 - 5.05]	0.017	1.71	[1.01 - 2.89]	0.045
定数		0.03	[0.00 - 0.39]	0.007	0.03	[0.01 - 0.18]	<0.001	0.08	[0.02 - 0.26]	<0.001